

## 中間支援組織等支援のための審査基準見直し

## 中間支援組織及び中間支援機能を有する組織に対する支援強化について

## 実現したいこと

基金 2 1 への「他の N P O を支援する事業提案」を促し、中間支援組織及び中間支援機能を有する組織（以下「中間支援組織等」という。）を通じた県内の N P O 支援基盤を充実していく。（既存の中間支援組織等による他の N P O 支援だけでなく、通常の N P O が中間支援機能を有する組織となるように誘導する。）

## 1. 強化対象となる団体の分類

中間支援を目的としている団体	分野横断	(株)ファンドレックス (一社)ソーシャルコーディネートかながわ (特非)アクションポート横浜 (特非)市民セクターよこはま・福祉重点	成長支援 負担金・補助金
	分野特化	(特非)よこはま地域福祉研究センター 全国小規模保育協議会 (特非)かながわ福祉移動サービスネットワーク	
自ら事業を行いつつ、中間支援機能も目的としている団体	分野横断	(株)イータウン(港南台タウンカフェ) (特非)ぐらす・かわさき	今回の強化対象
自ら事業を行う中で、中間支援機能も担っている団体	分野特化	横浜市 C B 相談窓口となっている団体 (特非)樹(アップル)など 相談や見学の受入れ (特非)ふらっとステーション・ドリーム ノウハウ移転、講演など	
依頼があれば、中間支援機能の発揮を厭わない団体	分野特化	成功モデル、先進的モデルの団体 (特非)ビーのビーの 視察受入れ、本の発行	

## 2. 中間支援機能の発揮方法

(深度)	個別支援	集団支援
浅い ↑ ↓ 深い	視察	情報発信(報告書や媒体、講演等)
	相談	現場見学会
	助言	セミナー
	ハンズオン支援 ノウハウ移転	事業モデル構築

### 3. 支援対象

事業を行いながら（自ら実践者の立場でありつつ）、中間支援機能を併せ持っているとする事業者（成功モデル、先進モデルの波及）

過去に基金21の協働事業負担金・補助金の対象となった事業でも対象事業をモデル化し同じ活動分野の他のボランティア団体に事業モデル・ノウハウを移転する等の事業提案であれば、再度助成対象とする。

#### 過去の対象事業者の再度の採択対象案件

対象事業と同一	同一事業の推進を目的としつつ、一部中間支援も付加（×）
	同一事業をモデルとして中間支援を行う（ ） 今回
対象事業から発展	同一事業の次のステップ、事業の拡大 など（ ）

### 4. 具体的対応

別紙調整案参照

中間支援組織等への支援強化について

前回の合同会議で基金21の見直しである中間支援組織等への支援強化策として審査基準の見直しを行った。

前回は承された協働事業審査基準

基本的な視点	評価項目と配点			
協働の評価	必要性	提案された事業は県と協働する必要性が高いものか	5点	15点
	協働効果(A)	ボランティア団体等は、関係者の強みを活かして連携し、事業をより効果的に行うことが期待できるか	5点	
	協働効果(B)	事業の受益者は、その事業が協働して行われることによって、単独で行われるよりも質の高い又は多様なサービス等の提供を受けることを期待できるか。	5点	
計画の評価	ニーズ	提案された事業は、社会にとって重要性、緊急性の高いものにチャレンジするものか	5点	20点
	担い手	事業の担い手は、当該事業を実施する上で、必要な専門的な知識や経験、ネットワークを有し、それを事業の計画に活かした企画となっているか	5点	
	手法	提案された事業は、課題解決のために効果的な手法となっているか	5点	
	費用対効果	収支予算は、ボランティア団体等の本来事業と整合性が図られており、提案された事業を実施するための経費が適切に計上されているか	5点	
期待できる効果	自立性	ボランティア団体等の会員や利用者の増加や組織的基盤の整備に結びつき、安定的で継続的な活動が期待できるか	5点	15点
	先駆性	提案された事業は、県の取組みや社会に対してインパクト(影響)を与え、新たな仕組みを生み出すことなどが期待できるか	5点	
	普及	提案された事業は、理解者や協力者の拡大が見込めるものであり、他の人々や団体等に理解され、活動の発展にも寄与することが期待できるか	5点	
	波及効果	提案された事業は、同じ活動分野の他のボランティア団体等に対するモデル性を有し、それら団体の成長に役立つ波及効果が見込めるか	5点	
合計				50点

(今回の提案)

期待できる効果	自立性	ボランティア団体等の会員・利用者の増加や、理解者・協力者の拡大が見込め、組織的基盤の整備に結びつき、活動の安定・継続、発展が期待できるか	5点	15点
	先駆性	提案された事業は、県の取組みや社会に対してインパクト(影響)を与え、新たな仕組みを生み出すことなどが期待できるか	5点	
	波及効果	提案された事業は、同じ活動分野の他のボランティア団体等に対するモデル性を有し、それら団体の成長に役立つ波及効果が見込めるか	5点	

前回了承された補助金審査基準

基本的な視点	評価項目と配点			
計画の評価	ニーズ(A)	申請された事業は、社会にとって必要性、重要性の高いものにチャレンジするものか	5点	30点
	ニーズ(B)	社会システムが十分に整備されていない領域に取り組む事業であるか	5点	
	自主性	申請された事業は、自主性の高い活動であり、申請者の熱意が分かりやすく伝わるものとなっているか	5点	
	担い手	事業の担い手は、当該事業を実施する上での、必要な専門的な知識や経験、ネットワークを有し、それを事業の計画に活かした企画となっているか	5点	
	手法	申請された事業は、課題解決のために効果的な手法となっているか	5点	
	費用対効果	収支予算は、ボランティア団体等の本来事業と整合性が図られており、申請された事業を実施するための経費が適切に計上されているか	5点	
期待できる効果	実現性	申請された事業は、計画どおりに実施される可能性が高いか	5点	20点
	自立性	ボランティア団体等の会員や利用者の増加や組織的基盤の整備に結びつき、安定的で継続的な活動が期待できるか	5点	
	先駆性	申請された事業は、社会に対してインパクト(影響)を与えることが期待できるか	5点	
	普及性及	提案された事業は、理解者や協力者の拡大が見込めるものであり、他の人々や団体等に理解され、活動の発展にも寄与することが期待できるか	5点	
	波及効果	提案された事業は、同じ活動分野の他のボランティア団体等に対するモデル性を有し、それら団体の成長に役立つ波及効果が見込めるか	5点	
合計				50点

(今回の提案)

期待できる効果	実現性	申請された事業は、計画どおりに実施される可能性が高いか	5点	20点
	自立性	ボランティア団体等の会員・利用者の増加や、理解者・協力者の拡大が見込め、組織的基盤の整備に結びつき、活動の安定・継続、発展が期待できるか	5点	
	先駆性	申請された事業は、社会に対してインパクト(影響)を与えることが期待できるか	5点	
	波及効果	申請された事業は、理解者や協力者の拡大が見込めるものであり、他の人々や団体等に理解され、活動の発展にも寄与することが期待できるか	5点	